

学校施設等における吹付けアスベスト等の対策状況 文科省



文部科学省では平成17年7月末から「学校施設等における吹付けアスベスト等使用実態調査」を実施していましたが、平成18年8月23日までに全ての対象機関でその調査を終了し、使用実態調査の最終結果に基づき、9月15日時点での対策状況を取りまとめました。実態調査では968機関、357,585平方メートルで飛散の恐れがあるとされていましたが、夏休み期間中の対策工事で232機関、97,052平方メートルまで減少したと公表しました。対策が行なわれた736機関の工事の内訳は「除去工事を実施」が580機関、「囲い込み・封じ込め工事を実施」が131機関、「その他」が25機関となっています。今回の調査は労働安全衛生法施行令の改正前のもので、アスベストの含有率が1%を超えるものを対象としています。改正後のアスベストの規制対象は含有率0.1%を超えるものへと引き下げられており、1%以下のものについては現在、補足調査を行なっています。

大気・建材等のアスベスト分析、当社にて承ります。お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2006年10月31日付 文部科学省 報道発表資料

環境分析箇所 貝森 繁基